

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	原子力協力専門員経費	担当部局庁	軍縮不拡散・科学部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度開始	担当課室	国際原子力協力室	室長 羽鳥 隆			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第4号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国による二国間原子力協定の交渉・締結に係る業務の実施を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	現在もなお多くの国が、我が国との原子力協力を要請しているため、我が国としては、相手国の状況を調査した上で、適切な場合には原子力協定を締結するとのニーズが増加してきている。このため、原子力協力専門員が、我が国との原子力協力を希望する国における原子力関連の人的・法的基盤(法制度、関連人員、関連インフラ等)に係る調査等を実施し、原子力協定の交渉、締結に係る業務の実施を促進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
		計	—	—	—	5	4
	執行額	—	—	—			
	執行率(%)	—	—	—			
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度
今後、原子力安全を含む我が国からの協力を最も強く求めている国5カ国以上につき、当該国の原子力政策、原子力に関する世論等につき調査する。		成果実績					5カ国
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各国の我が方大使館に調査訓令に対し調査訓令を発出し、少なくとも10の回答を得る。	活動実績 (当初見込み)				()	(10)
単位当たりコスト	(円／)	算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	調査謝金	4,660	4,483				
計	4,660	4,483					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	関係国の原子力関連の人的・法的基盤（法制度、関連人員、関連インフラ等）に係わる調査等を実施し、今後の施策を立案する上で有効な手段である。平成24年度は実働日数を見直し経費節減に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業について精査の結果、一部事業の縮小	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	海賊対策に関するワークショップ開催経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	海上安全保障政策室	室長 瀬尾 正嗣				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項イ 海賊対処法第11条第1項	関係する計画、 通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国の政府関係者に加え、有識者を交えた形でのワークショップを東京で開催し、海賊対策を含め海上安全保障問題について国際社会として取るべき諸施策等につき官民で議論する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	我が国の海賊対策をはじめとする海上安全保障問題への取組は、海賊を国内法上犯罪化した「海賊対処法」を国際社会に先駆けて制定し、また自衛隊による海賊対処行動を実施するなど国際的に高い評価を受けている。各国の有識者を交え海上安全保障問題に関するワークショップを開催し、今後の国際社会の取組に貢献する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	3	—	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	—	—	—		—	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	我が国の経験を国際社会と共有し、国際社会のソマリア沖海賊対策の取組に貢献することを目指している。		成果実績	参加者数	—	—	—	40
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	各国の政府関係者に加え、民間海運業界や学術界からの参加者を交えた形でのワークショップを東京で1回開催する予定。		活動実績 (当初見込み)	回	—	—	—	—
					()	()	1)	
単位当たり コスト	ワークショップを東京で1回開催する。		算出根拠					
平成 23 年度 (単位:千円 予算内訳)	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝礼	69	0	廃止				
	ワークショップ開催運営費	1,181	0					
	招へい費	1,886	0					
計	3,136	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件は今年度を実施する事業であるため点検は難しいが、ソマリア沖海賊問題が依然として深刻である現状を考えると、本件の目的は、国際社会のニーズに沿ったものであると考えられる。		
予算監視・効率化チームの所見			
		廃止	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					